

# 平成 2 9 年度事業計画

## 目 次

- I. 日韓経済人会議
- II. 日韓新産業貿易会議
- III. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）
- IV. 会員向け広報・情報サービス活動
- V. 青少年交流ファンド

## I. 第49回 日韓経済人会議

### 1. 会議開催計画の概要

本会議は1969年から幾多の困難な状況を乗り越え、一度も途切れることなく、日本と韓国の交互で開催しており、本年度は韓国で開催します。

日韓両国の新たな50年を見据えた経済連携、人材・文化交流活動について両国の経済人が一堂に会し議論致します。

日本と韓国との経済、人材文化という多層的な取り組みを地道に進め、経済人の絆を深めていくと共に、これまでと同様にWIN-WINの関係で両国経済産業界が常に日韓友好の先頭に立ち、日韓の経済交流の重要性を確認していきます。

1) 主催：日韓経済協会、日韓産業技術協力財団、韓日経済協会

2) 日程・場所：2017年9月26日（火）～27日（水）、  
韓国／ロッテホテル ソウル

：日本側団長団の表敬訪問は9月25日（月）実施

3) 主要テーマ：『激動する世界経済情勢における更なる日韓協力、新たな分野へ挑戦し、ともに未来を拓こう！』

4) 各セッション：講演者については調整中

5) 事前説明会及び講演会の開催：日韓両国の最近の情勢について講演を予定

## II. 日韓新産業貿易会議

### 会議開催計画の概要

#### 1. 第18回日韓新産業貿易会議

1) 日程：2017年3月28日（火）～29日（水）

於：Intercontinental Seoul COEX（レセプション）

COEX A s e m H a l l 201（会議）

2) テーマ :

①「激動する世界経済情勢における日韓協力」

\*急変する世界経済環境に対応するため日韓の新たな協力の方向性について議論する。

②「更なる日韓経済協力／新たな分野への挑戦」

\*第三国日韓経済連携や人材育成事業など、具体的な日韓協力事例を基に今後の方策について探る。

3) 参加者 : 日韓の経済人、政府関係者 約60人

## 2. 第19回日韓新産業貿易会議

1) 日程 : 2018年3月予定 於 : 日本

2) テーマ : 「第50回日韓経済人会議」に先立ち開かれる事前会議で、経済人会議で取上げるテーマをより具体的に掘下げて議論し、課題等を詰めていくことによって、経済人会議をより有意義で効果的な会議にすることを狙いとしています。日程は2017年の「第49回日韓経済人会議」開催後に確定致します。

## Ⅲ. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）

### 1. 日韓高校生交流事業

1) 「日韓高校生交流キャンプ」について

① 2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始しました。

これまで13年間で23回開催し、延べ約2,130人以上の交流実績となりました。

② 運営面では2006年度から2年間は、本事業の趣旨に賛同いただいた会社・団体の協賛金・助成金により運営しました。

- ③ 2008年度から2011年度は、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JENESYS）の一環として(財)日韓文化交流基金委託事業の形態で資金を得て参加費無料で運営しました。
  - ④ 2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、参加費無料で運営しました。
  - ⑤ 2013年度から2016年度は日本政府のアジア太平洋州諸国との間での青少年交流事業「JENESYS 2.0」と「JENESYS 2016」の一環として(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国産業通商資源部（経産省）／中小企業庁の支援金を合わせて運営しました。尚、2015年度より日本側参加者から参加費1万円を徴収しております。
- 2) 「第24回 日韓高校生交流キャンプ」の基本計画について
- 2018年平昌(ピョンチャン)冬季オリンピック、2020年東京オリンピック・パラリンピックでの両国・両都市間の文化・人材(ボランティアなど)交流を促進する場として、「第24回日韓高校生交流キャンプ」は、韓国江原道平昌郡にて開催する予定です。
- 3) 運営面については、日韓文化交流基金の企画競争公募、韓国産業通商資源部の支援状況を踏まえながら進めていきます。
- なお、キャンプでは、オリンピックをメインテーマに、周辺施設を見学し、ボランティア・サービス・観光等のカテゴリーに分かれて日韓両国が協力できる新たなビジネスを企画・発表します。
- 4) 現在時点での開催案の概略は次の通りです。
- ① 日程：2017年7月24日（月）～7月28日（金）
  - ② 場所：韓国江原道平昌「ケンジントン・フローラ・ホテル平昌」
  - ③ 規模：80名予定（日本の高校生40名、韓国の高校生40名）

## 2. 日韓学生未来会議

- 1) 高校生交流キャンプ後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的にOB会（JKSFF/KJSFF）を発足させ2007年から活動を始めました。この交流活動の年間最大行事として、両国学生が集い日韓に関わる様々なテーマについて意見交換し交流を深めるため「日韓学生未来会議」を日韓交互に毎年開催しています。
- 2) 「第12回日韓学生未来会議」は8月7日（月）～11日（金）に韓国京畿道龍仁市にて開催予定です。

## IV. 会員向け広報・情報サービス活動

### 1. 調査・広報活動について

- 1) 協会報の発行、週報の発信の充実を図ることは勿論、ホームページのリニューアルに伴い、時宜を得た情報の掲載を心がけます。
- 2) その他の協会事業等について、タイムリーな掲載をしていきます。

## V. 青少年交流ファンド

将来の日韓両国の青少年交流を促進するために、2015年日韓国交正常化50周年事業として「日韓青少年交流ファンド」を提案し設立しました。

本年度も引き続き、趣意書に基づきご理解いただいた企業、団体等への協賛金ご支援のお願いを拡充する予定です。

以上